

外航日本人船員の量的確保に向けた 更なる取り組みについて

外航海運の現状について（追加資料）

船員教育機関卒業生の就職状況等(その1)

船員教育機関卒業生の求人・就職状況

平成30年4月1日 現在

	卒業 年度	卒業 者数	就職 希望 者数	求 人										就 職										進 学						
				海 上 産 業										陸 上 産 業	合 計	海 上 産 業										陸 上 産 業	合 計	海 事 関 連 分 野	其 他	合 計
				外 航		内 航		カーフェリー ／ 旅客 船	官 公 庁	水 産 系	計	外 航				内 航		カーフェリー ／ 旅客 船	官 公 庁	水 産 系	計	産 業								
				外 航 労	其 他	三 団 体	其 他					外 航 労	其 他			三 団 体	其 他													
商船系大学 2校	25	104	97	60	26	9	25	14	18	3	155	303	458	50(2)	13(1)	2(0)	7(0)	3(0)	7(2)	0(0)	82(5)	15(6)	97(11)	7(1)	0(0)	7(1)				
	26	81	70	62	22	12	32	10	11	4	153	357	510	38(1)	5(0)	4(0)	10(0)	1(0)	5(1)	0(0)	63(2)	5(1)	68(3)	10(2)	1(1)	11(3)				
	27	85	78	58	26	10	28	14	8	0	144	303	447	45(3)	6(0)	3(0)	6(0)	2(0)	2(0)	0(0)	64(3)	13(2)	77(5)	6(0)	0(0)	6(0)				
	28	89	80	97	39	15	33	21	12	2	219	322	541	41(2)	10(1)	1(0)	6(0)	2(0)	5(1)	1(0)	66(4)	12(0)	78(4)	5(0)	0(0)	5(0)				
	29	97	89	89	77	28	27	47	24	26	1	230	360	590	50(3)	11(1)	4(0)	5(1)	2(0)	3(0)	0(0)	75(5)	14(3)	89(8)	8(3)	0(0)	8(3)			
商船系高専 5校	25	173	135	101	84	80	141	89	191	3	689	1,115	1,804	10(1)	4(0)	13(0)	38(2)	21(2)	2(0)	1(0)	90(5)	45(5)	135(10)	28(6)	4(1)	32(7)				
	26	142	116	78	88	84	156	64	209	2	681	1,137	1,818	12(0)	6(0)	9(0)	40(5)	11(2)	0(0)	0(0)	78(7)	31(4)	109(11)	19(2)	3(0)	22(2)				
	27	177	142	67	119	109	154	93	204	2	748	1,340	2,088	10(0)	14(1)	22(1)	39(1)	19(0)	1(0)	0(0)	105(3)	35(9)	140(12)	24(3)	5(0)	29(3)				
	28	197	155	65	124	122	174	120	187	1	793	1,189	1,982	17(1)	15(1)	37(3)	40(4)	20(2)	0(0)	1(0)	130(11)	23(3)	153(14)	28(5)	2(0)	30(5)				
	29	192	162	75	100	113	228	101	201	2	820	890	1,710	18(1)	16(0)	22(3)	49(4)	23(2)	0(0)	2(0)	130(10)	32(6)	162(16)	25(6)	2(1)	27(7)				
海技大学校	25	25	23	3	3	6	20	6	6	6	50	1	51	1(1)	1(0)	6(0)	9(2)	5(0)	1(0)	0(0)	23(3)	0(0)	23(3)	0(0)	0(0)	0(0)				
	26	24	24	19	5	11	31	5	3	8	82	1	83	1(0)	1(0)	7(0)	9(1)	4(1)	1(0)	0(0)	23(2)	1(0)	24(2)	0(0)	0(0)	0(0)				
	27	25	24	42	14	6	43	10	10	8	133	4	137	2(0)	4(0)	1(0)	14(3)	2(0)	1(0)	0(0)	24(3)	0(0)	24(3)	0(0)	1(0)	1(0)				
	28	27	27	15	11	2	51	13	10	6	108	3	111	1(0)	3(0)	1(0)	15(0)	5(0)	2(1)	0(0)	27(1)	0(0)	27(1)	0(0)	0(0)	0(0)				
	29	26	26	11	13	15	42	14	11	5	111	2	113	1(0)	1(0)	5(0)	11(0)	4(0)	2(0)	1(0)	25(0)	1(0)	26(0)	0(0)	0(0)	0(0)				

注 (1) () の数字は、女子に係る内数である。

(2) 商船系大学の数値について、東京海洋大学及び神戸大学の乗船実習科進学者に係るものである。

(3) 商船系高専の数値について、富山、鳥羽、大島、広島、弓削の各高専商船学科に係るものである。

(4) 海技大学校の数値について、海上技術学校及び海上技術短期大学校卒業後、海上技術コース進学者に係るものである。

(5) 卒業時期について、商船系大学及び高専は9月である。

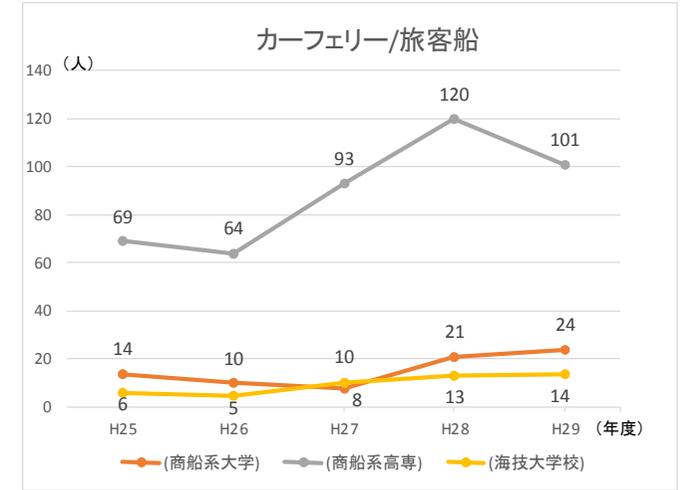
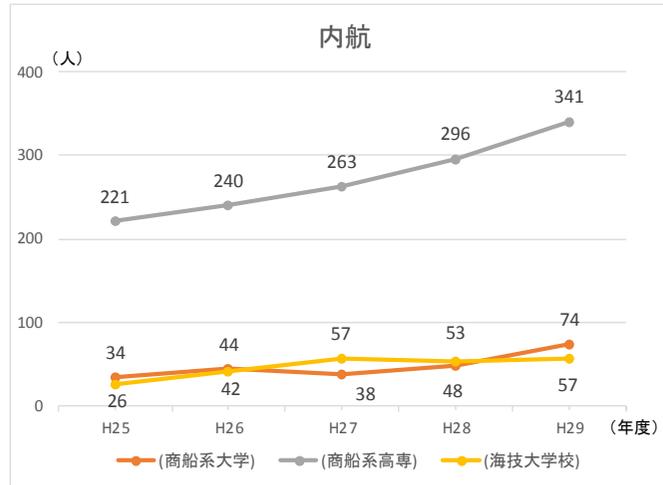
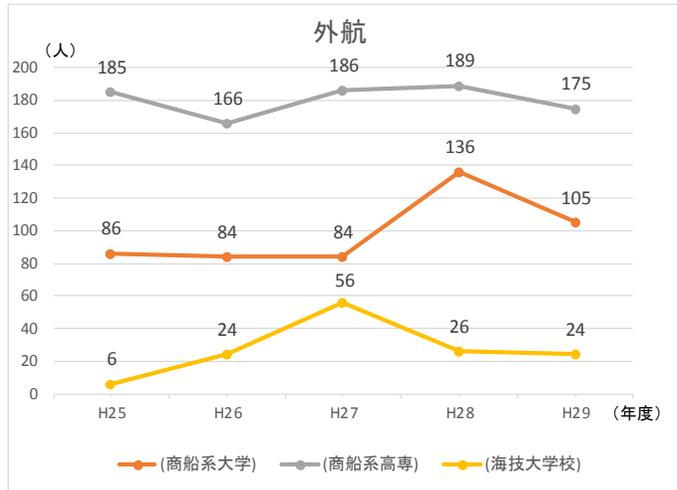
(6) 内航三団体とは、内航労務協会、一洋会、全内航を指す。

船員教育機関卒業生の就職状況等(その2)

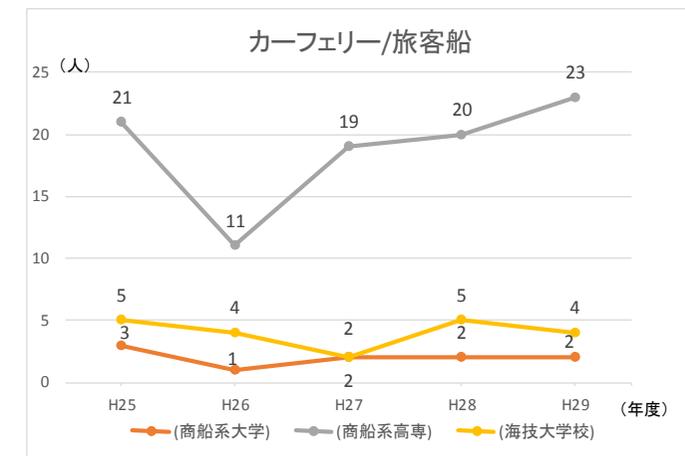
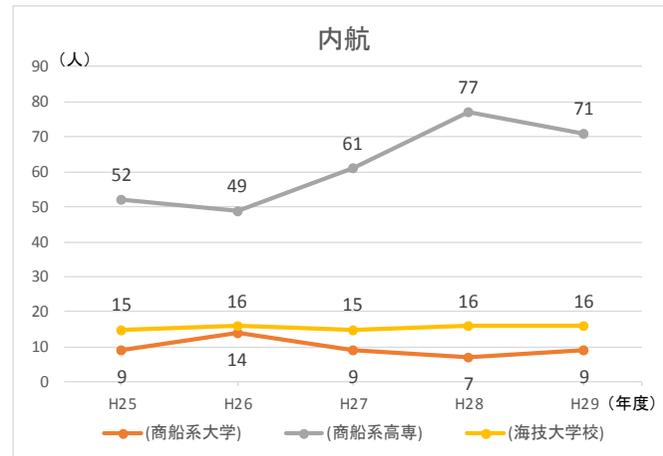
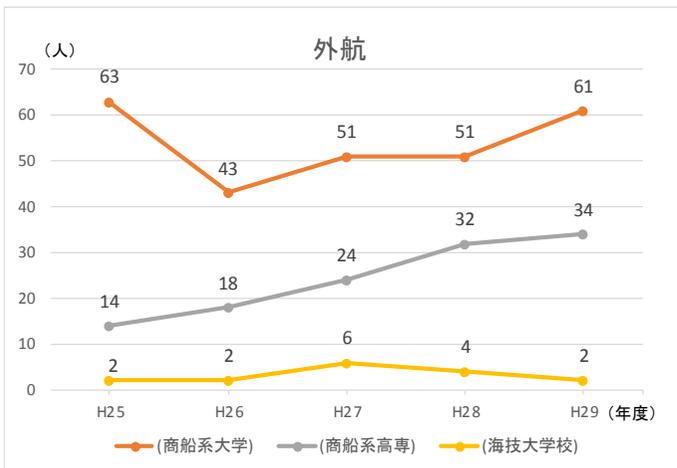
三級海技士養成機関における求人・就職状況の推移(平成25～29年度)

(商船系大学:2校、商船系高専:5校、海技大学校)

求人数(延数)



就職者数(実数)



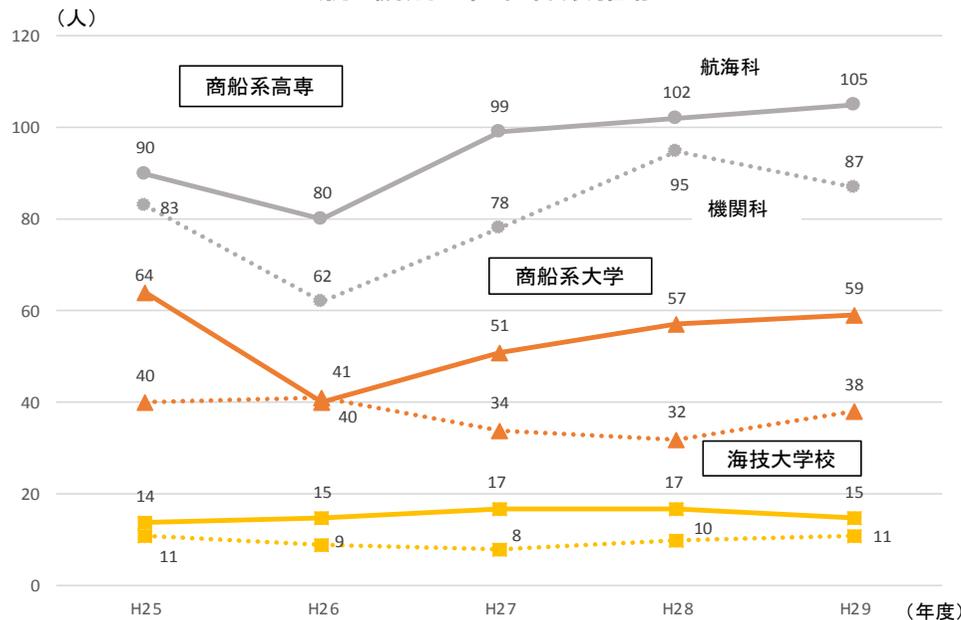
船員教育機関卒業生の就職状況等(その3)

船員教育機関における航海・機関別の求人・就職状況(平成29年度)

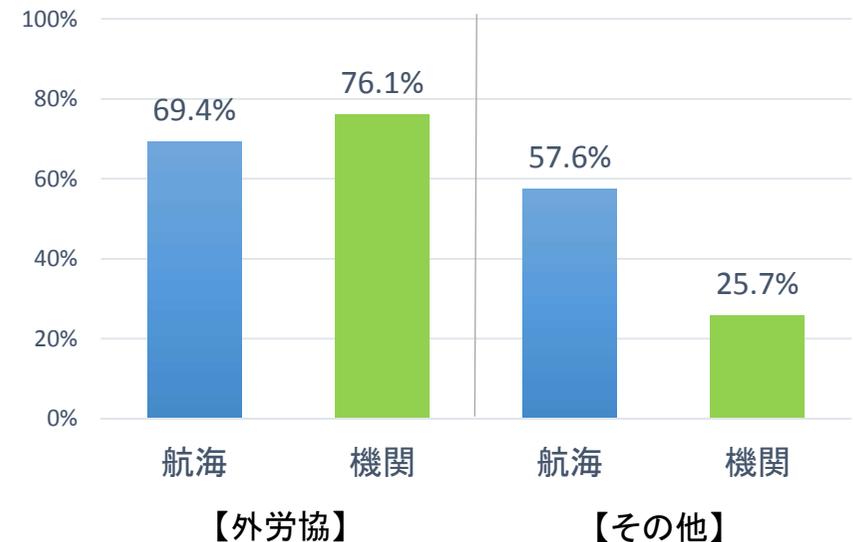
1. 三級海技士養成機関(商船系大学:2校、商船系高専:5校、海技大学校)

	卒業生数		就職者数		進学者数	外航						内航						カーフェリー／旅客船			官公庁			水産				
	航海	機関	海上	陸上		外航労			その他			三団体			その他			航海	機関	計	航海	機関	計	航海	機関	計	航海	機関
						航海	機関	計	航海	機関	計	航海	機関	計	航海	機関	計											
求人会社数						10	10	10	23	28	28	14	16	18	61	63	72	20	24	27	47	40	51	2	4			
求人数(延数)						84	79	163	72	69	141	82	73	155	158	159	317	65	74	139	130	108	238	3	5			
(商船系大学)						40	37	77	14	14	28	16	11	27	22	25	47	12	12	24	11	15	26	0	1			
(商船系高専)						39	36	75	50	50	100	58	55	113	116	112	228	44	57	101	113	88	201	1	1			
(海技大学校)						5	6	11	8	5	13	8	7	15	20	22	42	9	5	14	6	5	11	2	3			
採用会社数						8	7	8	16	7	19	9	10	14	29	19	41	10	13	18	2	2	3	1	2			
採用数	179	136	230	47	35	34	35	69	19	9	28	16	15	31	43	22	65	14	15	29	2	3	5	1	2			
(商船系大学)	59	38	75	14	8	26	24	50	8	3	11	3	1	4	3	2	5	2	0	2	2	1	3	0	0			
(商船系高専)	105	87	130	32	27	8	10	18	10	6	16	11	11	22	32	17	49	9	14	23	0	0	0	1	1			
(海技大学校)	15	11	25	1	0	0	1	1	1	0	1	2	3	5	8	3	11	3	1	4	0	2	2	0	0			

航・機別 卒業生数推移



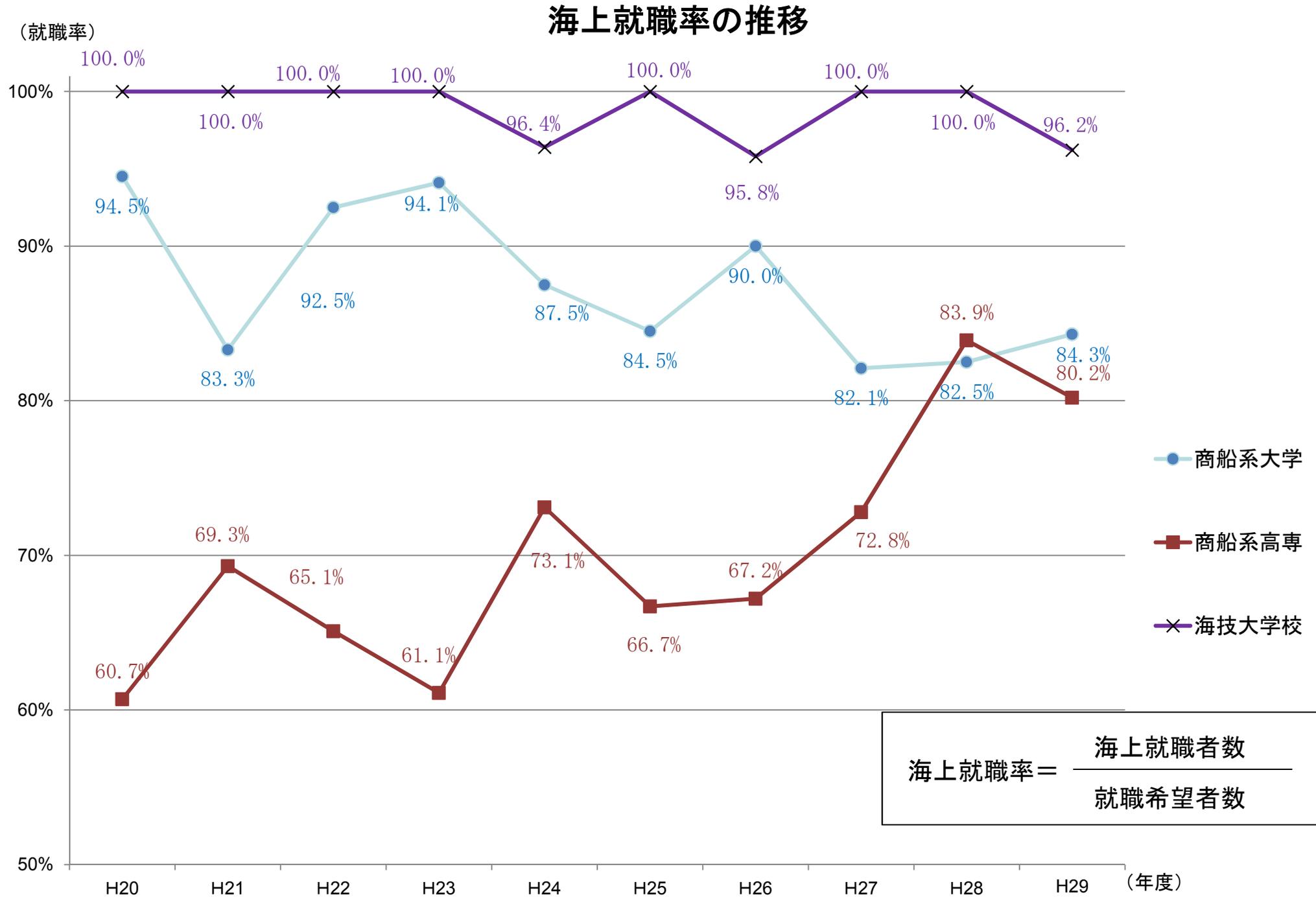
職種別 求人に対する充足率 (外航:平成29年度)



※船社求人 の推計値をもとに算出

推計値は、各学校に送付された求人票及び求職者数を比較し、重複していると思われる数を減じたものであり、実数を示すものではない。

船員教育機関卒業生の就職状況等(その4)



外航日本人船員の量的確保に向けた 更なる取り組みについて

多様な養成課程等による船員の育成(その1)

○外航船員養成課程の現状

	商船系大学	商船系大学(編入学制度)			商船高専	新3級	一般大卒者(現状)
		東京海洋大学	神戸大学 海事科学部				
修業年限	4年6月	3年6月 (編入時期: 2年生)	2年6月 (編入時期: 3年生)	2年6月 (編入時期:3年生)	5年6月	2年	2年(海技短大) 2年(海大)
入学年齢	18歳	—	—	—	15歳	22歳	22歳
卒業年齢	22歳	—	—	—	20歳	24歳	26歳
身分	学生	学生	学生	学生	学生	船社社員	学生
乗船履歴	練習船1年※1	練習船 1年	なし ※2	練習船1年※3	練習船1年※1	練習船6月 社船6月	練習船9月 (海技短大) 練習船6月(海大)

※1: 社船実習の導入により練習船6月+社船6月も行われている。

※2: 3年次編入学の場合については、商船高専で乗船実習を修了済の者又は商船高専以外からの編入で海技士資格を目指さない者を対象とするため、乗船実習は履修しない。

※3: 編入学前に乗船実習を行っていない場合は、2年生と一緒に実施する。ただし編入学前に乗船実習を行っている場合、乗船実習は実施しない。

注: 商船系大学(編入制度)の課程については、筆記試験は免除とされない。

- 現状、一般大卒者が3級を取得するためには、海上技術短大2年(4級課程・履歴9月)を修了し、更に、海技大学校2年(履歴6月)が必要。
- 海上技術短大には、毎年20名程度の一般大卒者が入学している状況。

多様な養成課程等による船員の育成(その2)

留意すべき事項

- 職業選択のタイミングが遅くなってきている。
- 船員の業務が変わってきており、単に現場の運航を担うだけでなく、マネジメントなどにも対応できる海技者が必要となっている。
- 他の養成課程との競合の問題があることから、混乱が生じないように、養成数などについては配慮が必要。
- 選択肢が増えるのは歓迎すべきこと。
- 商船系大学には編入学制度があり、卒業生も対象としている。

更なる取り組み

- 船員(海技士)となるための裾野を広げる観点からも、新3級養成課程や商船系大学への編入学制度の活用等も含めて、一般大卒者向けの3級課程のあり方について、関係者のニーズも確認しつつ検討する。

- 若者等に船員という仕事を就職先の一つとして選択してもらうには、我が国の経済活動を支える海運を身近に感じてもらい、船員の仕事・船内生活を正確に理解してもらうことが必要
- 事業者毎の特徴・特色や労働環境向上に向けた取り組みを効果的にアピールすることが必要

国土交通省
 (公財) 日本船員雇用促進センター
 (略称: SECOJ)

【船員求人情報ネットの運営】

厚生労働省
 職場情報総合サイト(H30.9開設予定)
 情報を一括することで、利用者が横断的に検索・比較できるようになり、企業と労働者のよりよいマッチングの実現を目指す



- ・ 一般国民に身近なトラック輸送や販売員等の陸上の職業と異なり、商船系船員養成学校の学生ですら船員の仕事の内容や船内での生活などの実態が正確に理解されていないのではないか。
- ・ 海運に興味のある生徒・学生や求職者等に対し、船員の仕事・船内生活等の情報提供の充実を図る必要があるのではないか。

更なる取り組み

- ①事業者毎の特徴・特色や労働環境向上に向けた取り組み、生徒・学生や求職者等が職場を選択する際に重点を置く事項等を調査。
- ②海運に興味のある生徒・学生や求職者等に対し、船員の仕事・船内生活等の情報の提供・充実を図る。
- ③厚生労働省が平成30年9月に開設を予定している「職場情報総合サイト」も活用し、情報提供を図る。

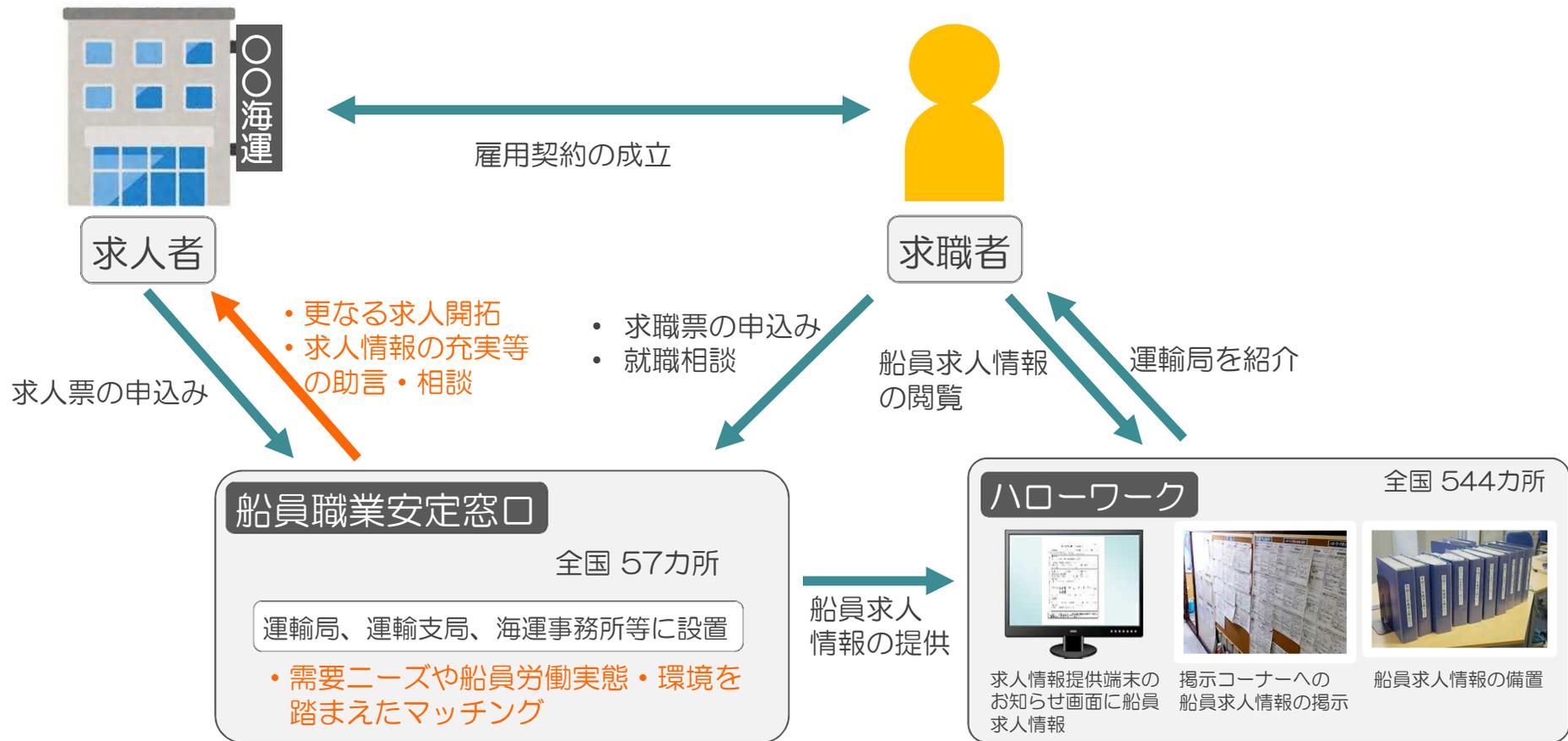
【情報の提供・充実】

- ・船員の仕事や船内生活を正確に理解してもらう
- ・自社の労働環境等と他の事業者を比較することを可能とすることで、事業者の労働環境向上を促す
- 提供・充実を図る情報(例)
 - ・船員の仕事・キャリアパス
業務内容、乗下船サイクル、研修制度 等
 - ・船内生活の情報
司厨員の有無、船内Wi-Fi環境の有無 等
 - ・事業者情報
業種、事業概要、平均年齢、有給休暇取得率 等



- ・船員の仕事や船内生活を正確に理解してもらい、就職先の一つとして選択してもらえるようになり、優秀な人材の確保につながる。
- ・多くの事業者の情報を検索・比較することで、より自分にあった職場を見つけることが可能となる。
- ・事業者が自社の特徴・特色や労働環境向上に向けた取り組み等と他社の取り組み等を比較することが可能となることで、事業者相互の労働環境向上を促す。

- 海運事業者に対して求人の申し込みを促すとともに、求職者の望む求人情報の充実等を図ることが必要
- 海運事業者の需要ニーズ、船員の労働実態を踏まえた、雇用のマッチングを図ることが必要



- ・ 事業者の求人申込みの促進や、求人情報へ企業情報を盛り込む等求人情報の充実など、更なる求人開拓に向けた取り組みが必要ではないか。
- ・ 需要ニーズや船員労働実態・環境を踏まえた雇用のマッチングに向けた取り組み方策の検討が必要ではないか。

更なる取り組み

- ①事業者の求人申し込みの促進や、求人情報へ企業情報や労働環境等を盛り込むなど求人情報の充実に関する助言・相談による更なる求人開拓。
- ②荷主、船種、時季等による船舶運航の繁忙・閑散の実態や船員の乗下船サイクル等の調査。
- ③需要ニーズや船員労働実態・労働環境を踏まえた雇用のマッチングに向けた取り組み方策の検討。



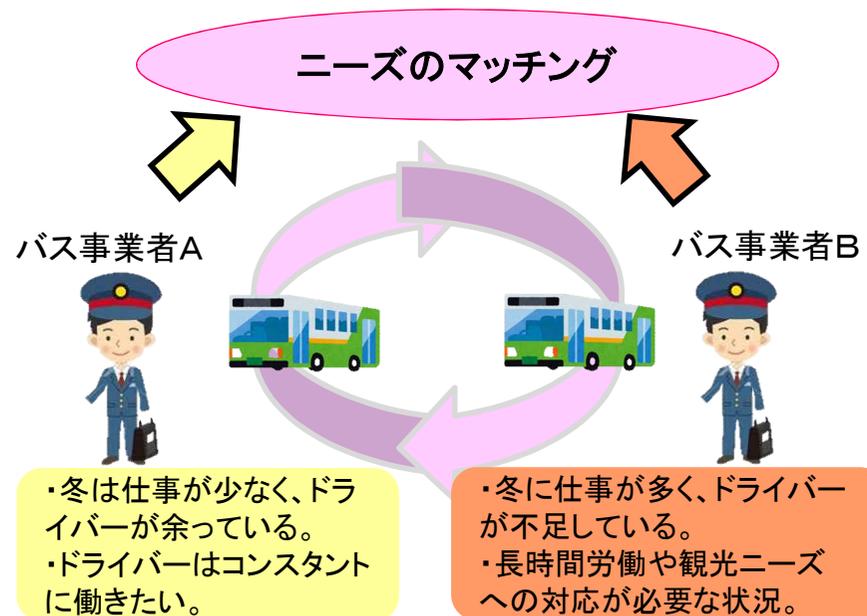
- ・求人申し込みの増加や求人情報が充実することで、求職者の希望に合う職業紹介が可能に。
- ・海運事業者の需要ニーズや船員の労働実態を踏まえたマッチングが可能に。
- ・雇用のミスマッチの解消による船員の定着率の向上。

バス事業の生産性向上

- バス事業の生産性向上を図るべく、新しい運行体系を導入し、運転者の長時間労働を是正する。

大型ドライバー融通

- 地域間における閑散期の違い等によるドライバーニーズの不均衡に着目し、バス事業者間におけるドライバー融通のモデル事業を行う。



効果

繁忙期の長時間労働の軽減、
閑散期のドライバー所得の向上、
観光ニーズへの対応

- 海運業における女性船員の比率はわずか2%にとどまっており、女性船員の就労が進んでいないとは言えない状況。
- 女性船員の活躍促進に向けた取り組みが必要とされているところ。

1. 海事産業における女性活躍推進の取組事例集の作成（平成30年4月9日）

「輝け！フネージョ★」プロジェクト第1弾

国土交通省は、海事業界の取り組みや先輩女性の声を広く紹介する「**海事産業における女性活躍推進の取組事例集**」を作成し、国土交通省ホームページで公表！



海事業界への就職を検討する貴女！
女性にとって魅力ある職場づくりに悩む経営者の皆さん！
是非、取組事例集を手にとって下さい！



経営者の皆さん！
本事例集に貴社の取り組みを掲載しませんか？
～定期更新にあわせて追加掲載を行えます！
～所属団体や最寄りの運輸局にお問い合わせ下さい。



※：フネージョ・・・船員や造船・船用工業など海事分野で働く女性を幅広く象徴する造語。イタリア語の「アダージョ」(くつろぐ)、「ゆっくりと」等の意)の語感を込め、母なる大洋を船舶が優雅にゆっくりと航行する姿を想像させ職場をくつろがせるイメージ。

2. 女性船員の活躍促進に向けた女性の視点による提案 (平成30年4月11日)

1. 事業者の積極的な女性船員の雇用を促進するための情報の発信

【課題】

- 事業者の積極的な女性船員の雇用を促進する為の情報をどのように発信していくか。

【提案】

- 女性船員の活躍促進に向けた取り組みを実施している事業者による、他の事業者への積極的な情報提供・情報共有。
- 事業者における、社員(特に船員)に対する、男女共同参画に関する周知。
- 女性船員の活躍促進に係る講演会の開催や冊子の作成等、事業者に対する周知。
- 女性船員の活躍促進に関するサイトを設置し、事業者に対する情報を発信。

2. 船員という仕事を職業として選択してもらうための女性船員に関する情報の発信

【課題】

- 女性に船員という仕事を職業として選択してもらうために、女子学生等に対し、どのように情報を発信していくか。

【提案】

- 事業者による、自社における女性(特に船員)の活躍促進に向けた取り組みに関する積極的な情報公開。
- 船員教育機関における、学生及び教職員に対する、男女共同参画に関する周知。
- 女性船員の活躍促進に係る講演会の開催等、船員を志望する女子学生等に対する周知。
- 職業紹介における、女性求職者に対する積極的な情報発信。
- 女性船員の活躍促進に関するサイトを設置し、船員を志望する女子学生等に対し、情報を発信。

3. 女性船員が働き続けられる環境の構築

【課題】

- 女性船員が結婚・出産を含むライフステージの変化に合わせて働き続けられる環境をどのように構築していくか。

【提案】

- 結婚・出産等のライフステージに合わせ、本人の希望に応じた乗船期間の短縮や海上勤務と陸上勤務の円滑なリンクへと繋げる取り組み。
 - 事業者による、船内の居住設備(浴室、トイレ等)等、男女を問わず働きやすい船内環境構築の取り組み。
 - 結婚・出産後に海上勤務を希望する場合における、ニーズや実態を踏まえたサポート体制の構築。
 - 女性船員の多様な働き方のニーズに応じたマッチングが図られる体制の構築。
 - 居住環境や離家庭性の改善に向けた海上での通信環境の改善、労働環境の改善に向けた船内作業の自動化・省力化等の取り組み。
- また、女性船員の潜在的労働力を最大限に引き出すべく、女性船員の就業促進に取り組みに対する支援が求められる。

3. イベント等における周知活動の実施

<実施例>「Sea Japan Woman in Maritime」(平成30年4月12日開催)における周知

- 「Sea Japan Woman in Maritime」において、海事局職員が「女性船員の活躍促進に向けた女性の視点による提案」等についての講演を実施。
- 併せて、パネルの展示や「海事産業における女性活躍推進の取組事例集」の配布も実施。



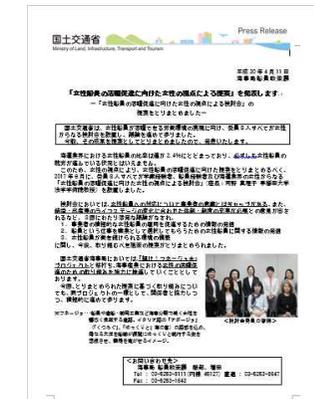
- イベント開始前から聴講者が多数並んでおり、ステージの座席は満席。(聴講希望の事前登録者は150名超)。立ち見の聴講者も多数あった。
- イベントの内容から女性の聴講者が多く、中にはリクルートスーツの学生と思われる聴講者もあった。

これまでの取り組み

- 国土交通省海事局においては、女性船員の活躍促進に向け、これまでも、
 1. 「海事産業における女性活躍促進の取組事例集」の作成及びプレスリリース
 2. 「女性船員の活躍促進に向けた女性に視点による検討会」の設置及び「女性船員の活躍促進に向けた女性の視点による提案」のプレスリリース
 3. イベント等における周知活動の実施等の取り組みをおこなってきたところ。



【「取組事例集」のプレスリリース】



【「提案」のプレスリリース】

更なる取り組み

- ① 事業者や女子学生等に対する「海事産業における女性活躍促進の取組事例集」の周知及び掲載記事の更新(新規情報の掲載)
- ② 事業者団体や船員教育機関に対する「女性船員の活躍促進に向けた女性の視点による提案」の周知
- ③ イベント等を活用した、女性船員の活躍促進に向けた情報の積極的な発信。
- ④ 女性船員(フネージョ★)に関する情報を掲載するサイトの検討。

トラガールサイトの開設(自動車局HP)

※トラガール:女性トラックドライバーの呼称

【トラガールサイトのねらい】

- ✓ 全国で活躍する女性ドライバーを紹介し、トラガールを目指す女性に役立つ情報を提供。
- ✓ 女性ドライバーの活用について、経営者等が積極的に考える契機を作り、業界のイメージ改革を図る。
- ✓ また、配送中、女性用トイレが不足しているとの声もあるため、全ト協と連携し、荷主団体等へドライバーのトイレ使用等に係る協力要請を行い、協力企業をトラガールサイトで紹介するなどの取組を実施中。

【トラガールサイトの主な内容】

- ・トラガールになるには…運転免許の種別毎の取得方法を解説
- ・トラガールの軌跡…全国のトラガールへのインタビューを写真とともに掲載
- ・事業者向け情報…女性雇用等に係る各種制度等を紹介



- 関係省庁連絡会議において、普及に向けた課題と対応方法を検討し、取りまとめ。
- 総務省・国土交通省・水産庁の3省庁が連携し、海上における高速通信の普及に向け対応。

(課題1) 衛星通信サービスの更なる高度化

(1) 衛星通信サービスの更なる高度化の円滑な実施

- 総務省が平成30年以降の衛星通信サービスの更なる高度化を円滑に進めるための制度化及び必要な措置を実施。

(課題2) 普及に向けた周知の方法

(2) 衛星通信サービスに係る説明会の開催等

- 総務省が関連団体の機関誌等に対する情報提供。
- 3省庁が連携して通信料金、スペック、設置費用等導入に係る手続や経費、導入することのメリット等について関係団体向けの説明会を開催。

(課題3) 利用者のニーズの把握・掘り起こし

(3) 漁船への導入促進を図りつつ、利用者のニーズ(価格とサービス内容のバランス)等を把握・取りまとめ

- 水産庁が海外まき網漁業や遠洋まぐろはえなわ漁業などを中心に、関連事業等を活用して、船内の居住環境の整備・改善を図ることを目的とした海上ブロードバンドの導入に対して支援。
- 事業者や乗組員の利用状況、要望等を取りまとめ、結果を関係省庁連絡会議へ報告。

(課題4) 事業者への情報提供

(4) 利用者のニーズ等を事業者へ情報提供

- 平成30年度以降、新たな海上向け高速・大容量衛星通信サービスの提供開始により事業者間の競争を通じた価格の低廉化が期待されることを踏まえ、関係省庁連絡会議として、需要サイドの動向・要望等を事業者に伝達することなどを通じ、利用者のニーズに対応したサービスがより低価格で提供されるよう取組を推進。

更なる取り組み

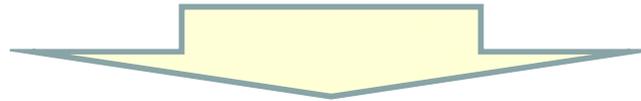
- 引き続き関係省庁と連携し、衛星通信サービスに係る事業者向け説明会の開催や、事業者や乗組員の利用状況・要望等を通信事業者に伝達することなどを通じ、ニーズに対応したサービスがより低価格で提供されるよう、海上における高速通信の普及に向け対応。

- 外航日本人船員(陸上海技者を含む)は運航要員としてのみならず、船社における運航管理業務全般への対応や営業支援要員としての役割も期待されている。
- 業界からは、高い技能を有する人材の輩出が求められている。

求められる外航日本人船員(海技者)像

運航要員としてのみならず、陸上においても海技者として活躍することが期待されており、

- 広い視野
- 高い基礎学力(語学力含む)
- 旺盛な探究心・積極性・提案力
- 優秀な海技者になるための強い意志
- 新たな海洋事業分野などを担う能力を持った人材が求められている。



求められる教育

高い技能を有する人材を養成するための施策として、

- 論理的思考を養う基礎教育(一般教養(含 経営学の基礎)等)の強化
- 英語教育の強化
- コミュニケーション能力・リーダーシップを育む教育の強化
- 新たな海洋事業分野などへの対応等が考えられる。

- ・外航日本人船員の量的な確保を進める観点からも、質の向上を図る取り組みが必要と考えられる。
- ・高い技能を有する外航日本人船員を養成するため、関係者のニーズも確認しつつ教育内容の改善等が必要ではないか。

今般、中小規模の外航海運事業者を対象に、外航日本人船員に求める役割や採用する外航日本人船員に求める主な知識・技能等についてヒアリングを実施。ヒアリングの結果は次のとおり。

外航日本人船員に対して求める役割

- まずはクルーとして一定期間の海上経験を積んでもらい、本人の希望も聞くが、将来的には船舶管理の業務を行ってほしい。
- まずは10年程度海上勤務をしてほしい、船長又は機関長まで経験を積んだ上で、最終的には、陸上勤務に就かせ、船舶管理業務を行ってほしい。
- 一定の海上経験を積んだ上で、将来的には、陸上で、海務、工務、船舶管理等の業務を行ってほしい。

採用する外航日本人船員に対して求める主な知識・技能等

- クルーは外国人船員が多いことから、英語でのコミュニケーション能力は必要不可欠。
- 船上では英語が公用語であり、採用され乗船するといきなり英語能力が必要になるため、優秀な船員であっても英語については苦労している。
- マネジメント能力については、陸上ならでの知識等が必要となるので、陸上職に就いてから経験を積んでいけばよいと思うが、船の上でも必要になるため、基礎的な知識があればよいと思う。
- 船舶管理に関する知識等は、実際に業務を行っていく中で身につけていくものであると思うが、船舶管理の仕事内容等、基礎は知っておいてほしい。
- 重要なのは人間性(自ら行動・判断する積極性、メンタルの強さ等)。
- 船員教育機関で学ばない知識として、航海をする上で必要となる航海指示書の読み方や実践的な荷役計算の知識等があればよいと思う。

更なる取り組み

- 高い技能を有する外航日本人船員を養成するため、関係者(事業者、学生、卒業生)のニーズも確認しつつ教育内容の改善等の検討を行う。

教育内容の改善の例 (イメージ)

将来の幹部候補となるために必要な能力等に係る教育の実施

将来の幹部候補となるため、コミュニケーション能力、リーダーシップ能力、マネジメント能力や船舶の運航管理業務に係る教育の実施

即戦力として必要となる資格取得の促進

即戦力として必要となる能力のより一層の習得を図るため、衛生管理者等の資格取得を促進

英語教育の充実

船内でのコミュニケーション能力の向上を図るため、リスニング等による英語教育の充実

より実践的な船内実務に関する教育の充実

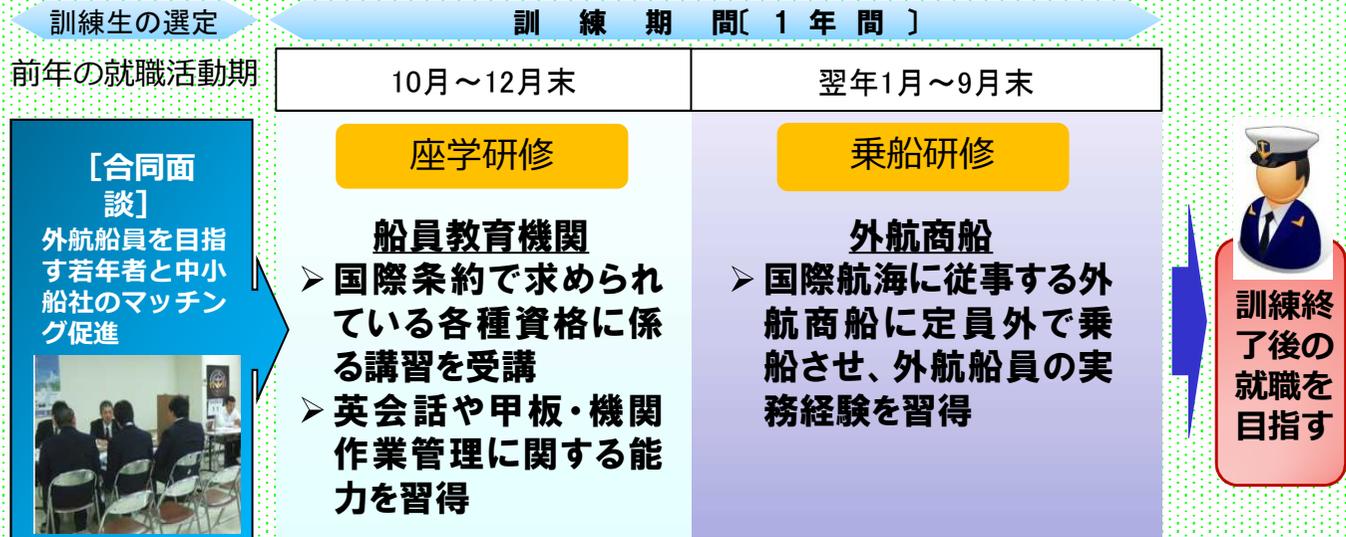
より実践的な船内実務(例えば、航海指示書の読み方、実践的な荷役計算の知識等)に関する教育の充実

更なる取り組み

- 外航日本人船員（海技者）確保・育成スキームについては、外航日本人船員（海技者）確保・育成協議会において、外航日本人船員に対して求める役割等、船社のニーズ等も踏まえ、例えば、英語力の向上や船舶管理業務に関する基礎知識に関する教育の実施等、教育内容の改善が必要である。

確保・育成スキーム

外航船員を目指す若年者に対し、即戦力として求められるキャリア形成を支援するための訓練（座学研修と乗船研修）に係る支援を行うことにより、外航船員としての雇用促進を図る。また、合同面談会において、雇用に関する情報交換等も行っている。



外航船社就職実績の推移

